



Phoenix Report

衆議院議員 **たけい 俊輔**

フェニックス レポート

国政報告10号
発行2020.8

国政の真ん中で、全力投球。

～政権与党としての責任で、国民の命と暮らしを守り抜き、コロナに打ち克つ～

第201回通常国会で三度の質問に立つ

予算委員会分科会・外務委員会・財務金融委員会

外務委員会では、在外公館の質の向上への取組みや新型コロナウイルス関係の諸問題(特に国際線の運休などによる観光業や物流への甚大な影響)について、外務省として果たすべき役割などを茂木外務大臣に訴えました。またオリンピックについて選手の入国などの日程変動が懸念されますが、地元の綾町を含めたホストタウンへの適切な情報提供と対応を要請いたしました。

財務金融委員会では、日銀総裁による「日銀報告」に対する質問をいたしました。すべてコロナ対策関連で、日銀特別措置について系統金融機関への対策により農林中金などから農協、そして農業者への資金の流れ、また金融庁への与信や債務者区分が事業継続意欲に直結することへの危機感などを訴え、この内容は翌日の「日本農業新聞」にも掲載されました。また自動車税の減免などの仕組みが都道府県のホームページなどにもほとんどなく周知されていない点を指摘し、総務省からは改善のための通知をしたい旨の答弁を得ました。

与党は事前に部会で法案審査を行うため質疑の時間も限られていますが、与党ならばその建設的な議論を進めて参ります。



菅義偉官房長官に直接の要請

新型コロナ関連の観光や経済振興について菅官房長官に直接申し入れ。その場で対応を決めて頂き、予算の獲得も含めた大きな動きになりました。また発熱者の宿泊に関する厚生労働省の通達なども変更に結び付けるなど、具体的な政策に反映することに漕ぎつけました。

今後もネットワークを活かし、政策を形にすることで役割を果たして参ります。



各種報道番組に出演

コロナと経済の両立を訴え各種報道番組に出演。コメンテーターからの厳しい突込みもありましたが、与党として取り組む政策、厳しい経済の状況などを訴えました。With コロナといわれる時代において、もちろん感染抑止は最重要ですが、経済が立ち行かなくなれば街は死んでしまいます。どちらの命も等しく重要です。

誰かが果たすべき役割、今後もそれから逃げないという思いで臨んで参ります。



党青年局長代理として

党青年局において、去年は国際部長、今年は局長代理を務めています。青年局はその使命である台湾との窓口を担当するとともに、全国各地の若手議員の皆さんとともに課題解決を図っていく重要な党組織です。

今年は新型コロナウイルスの影響で会っての活動は制約が大きくなりますが、小林史明局長のもとWEB会議などを積極的に活用するなどし全国の仲間と役割を果たしております。

